

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 櫻井 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 安田 晋

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	40,829	△2.8	2,214	△36.1	2,286	△33.6	1,344	△38.0
23年3月期第1四半期	41,989	13.8	3,465	208.7	3,442	169.3	2,169	191.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,535百万円 (△26.7%) 23年3月期第1四半期 2,095百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.02	—
23年3月期第1四半期	21.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	208,662	127,128	59.3
23年3月期	207,779	126,784	59.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 123,826百万円 23年3月期 123,555百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,000	△3.6	4,400	△40.2	4,000	△43.1	2,000	△46.3	19.36
通期	180,000	1.0	11,200	△23.2	11,100	△22.8	6,300	△9.0	60.99

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	103,651,442 株	23年3月期	103,651,442 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	362,614 株	23年3月期	362,599 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	103,288,828 株	23年3月期1Q	103,290,498 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から同年6月30日）における世界経済は、中国をはじめとする新興国の成長は続いているものの、欧米においては高水準な失業率や債務問題などから減速感が見られるなど、景気回復のペースは緩やかなものとなりました。一方、国内は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞に加え、電力供給問題、原油をはじめとする資源価格高騰など、厳しい状況で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野におきましては、自動車関連分野では、震災の影響を大きく受け生産数量が減少しました。IT・デジタル家電分野では、震災により消費が一時的に落ち込みましたが、省エネ製品や地デジ対応製品への買い替え需要などがあり、総じて堅調でした。また、国内の加工油脂分野におきましては、生産数量は前年同期並みとなりましたが、被災あるいは原材料・包材などの調達困難による一部製品の生産停止や原材料価格高騰の影響などにより、厳しい事業環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、総力を結集して震災被害にあった国内4工場の早期復旧に取り組み、6月末に相馬工場の稼動が再開したことにより全ての工場が復旧しましたが、業績に大きな影響を受けました。一方、成長戦略として「新製品の創出」と「海外事業の拡大」を強力に推し進め、持続的成長に向けた布石を着実に打ち、経営基盤の強化に一段の努力を重ねてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は408億29百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は22億14百万円（同36.1%減）、経常利益は22億86百万円（同33.6%減）、四半期純利益は13億44百万円（同38.0%減）となりました。

報告セグメント別の概況は、次のとおりです。

#### (化学品事業)

当事業の売上高は、298億16百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は25億54百万円（同11.7%減）となりました。

##### ①情報・電子化学品

半導体材料は、スマートフォンなどの多機能携帯端末の普及拡大に伴い、省電力設計の先端的な半導体メモリで使用される高誘電材料が海外を中心に伸長しました。液晶フラットパネル他に使用される各種材料では、光硬化樹脂が好調でしたが、超微細回路形成用エッチング薬液や高純度ガスなどは、顧客の生産調整などにより販売数量が減少しました。

以上の結果、情報・電子化学品全体では前年同期に比べ増収ではありましたが、わずかながら減益となりました。

##### ②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車減産の影響などを受けましたが、一方で国内の住宅向けや海外向けの販売は堅調に推移し全体では前年同期を上回りました。水系樹脂は、海外向けや建築用途などで堅調でした。界面活性剤は、海外向け塗料用途や衣料用洗剤向けが伸長し好調でした。潤滑油剤は、BCMS（事業継続マネジメントシステム）に基づき、津波被害による生産停止の影響を最小限に抑えましたが、前年同期を下回りました。

以上の結果、機能化学品全体では前年同期に比べ増収減益となりました。

##### ③基礎化学品

プロピレングリコール類などは、堅調に推移しましたが、過酸化水素およびその誘導品は、計画停電の影響で生産を一時的に停止したことにより販売数量が大きく減少しました。

以上の結果、基礎化学品全体では前年同期に比べ減収減益となりました。

**(食品事業)**

当事業の売上高は、102億18百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益は4億8百万円の損失（前年同期比9億51百万円減）となりました。

当事業の主力工場となる鹿島工場および鹿島工場西製造所が震災の影響を大きく受け、約2カ月間、生産を停止あるいは縮小していたことが要因となり販売数量が減少しました。利益面では、子会社の収益改善や原価改善に努めてまいりましたが、震災による販売減少に加え、原材料価格の高騰が影響し採算が大きく悪化しました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報****資産、負債および純資産の状況**

総資産につきましては、前期末に比べ8億82百万円増加（前期比0.4%増）し、2,086億62百万円となりました。売上債権の減少を上回るたな卸資産の増加が主な要因であります。

負債につきましては、前期末に比べ5億39百万円増加（同0.7%増）し、815億34百万円となりました。短期借入金の増加が主な要因であります。

純資産につきましては、前期末に比べ3億43百万円増加（同0.3%増）し、1,271億28百万円となりました。利益剰余金の増加が主な要因であります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年6月17日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,163	25,048
受取手形及び売掛金	38,581	36,168
有価証券	9,627	8,632
商品及び製品	12,169	14,815
仕掛品	3,261	3,843
原材料及び貯蔵品	13,026	13,438
その他	5,234	5,929
貸倒引当金	△217	△217
流動資産合計	106,847	107,657
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	21,244	20,867
土地	20,562	20,591
その他(純額)	26,241	26,684
有形固定資産合計	68,049	68,143
無形固定資産	3,533	3,454
投資その他の資産		
投資有価証券	23,102	22,888
その他	6,246	6,517
投資その他の資産合計	29,349	29,405
固定資産合計	100,932	101,004
資産合計	207,779	208,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,334	31,579
短期借入金	11,472	12,600
未払法人税等	2,418	1,043
賞与引当金	2,009	2,820
その他の引当金	1,537	1,160
その他	5,103	9,816
流動負債合計	53,876	59,021
固定負債		
長期借入金	10,529	5,589
退職給付引当金	8,526	8,657
その他の引当金	168	88
その他	7,894	8,176
固定負債合計	27,118	22,512
負債合計	80,995	81,534
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,925	19,925
利益剰余金	78,647	78,853
自己株式	△224	△224
株主資本合計	121,248	121,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,001	653
土地再評価差額金	3,270	3,270
為替換算調整勘定	△1,964	△1,552
その他の包括利益累計額合計	2,307	2,371
少数株主持分	3,228	3,302
純資産合計	126,784	127,128
負債純資産合計	207,779	208,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	41,989	40,829
売上原価	31,615	31,866
売上総利益	10,373	8,963
販売費及び一般管理費	6,908	6,748
営業利益	3,465	2,214
営業外収益		
受取利息	20	23
受取配当金	131	131
持分法による投資利益	126	77
その他	73	77
営業外収益合計	351	310
営業外費用		
支払利息	98	89
その他	275	148
営業外費用合計	374	238
経常利益	3,442	2,286
特別損失		
有形固定資産除却損	45	76
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	101	—
災害による損失	—	272
特別損失合計	147	349
税金等調整前四半期純利益	3,295	1,936
法人税、住民税及び事業税	1,397	730
法人税等調整額	△348	△210
法人税等合計	1,049	519
少数株主損益調整前四半期純利益	2,246	1,416
少数株主利益	76	71
四半期純利益	2,169	1,344



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,246	1,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	△345
為替換算調整勘定	233	466
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	△2
その他の包括利益合計	△150	118
四半期包括利益	2,095	1,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,976	1,408
少数株主に係る四半期包括利益	118	126

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	28,650	12,460	41,111	877	41,989	—	41,989
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	16	72	2,678	2,750	(2,750)	—
計	28,706	12,476	41,183	3,555	44,739	(2,750)	41,989
セグメント利益	2,894	543	3,437	10	3,448	17	3,465

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額17百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	29,816	10,218	40,035	794	40,829	—	40,829
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	63	12	75	2,567	2,643	(2,643)	—
計	29,879	10,230	40,110	3,361	43,472	(2,643)	40,829
セグメント利益 (損失)	2,554	(408)	2,146	49	2,196	18	2,214

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額18百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。